

日本語版への序文

『貧しい人々の声』は、貧しい人々が直面している現実を力強く伝えています。若い人々は、未来そのものです。日本の学生の皆さんが本書に共感し、感銘を受け、本書について勉強しただけでなく、貧しい人々の声を日本で伝え広めるために本書を翻訳して下さったことを大変嬉しく思います。こうした努力の積み重ねにより、すべての人々にとってより良い世界が実現されるのです。

世界銀行総裁

ジェームズ D. ウォルフエンソン

日本語版への序文

貧しい人々の苦痛、絶望感、澁刺とした様子、生き抜くためそして家族を守るための決意。私たちは、貧しい人々のこうした思いを少しでも伝えようと考え、この本を執筆しました。この本を読んだ若い人々が積極的な行動を起こしてくれるのなら、執筆者としてこれ以上の喜びはありません。日本の学生25名が貧しい人々の声を伝え広めてくださることに、深く敬意を表します。12億人の貧しい人々の姿が見えるようになってはじめて、彼らが貧困から抜け出そうとする努力を効果的に支援できるのです。

世界銀行貧困削減・経済管理ネットワーク上級顧問
ディーパ・ナラヤン